



並木中等story

令和2年10月27日号

依頼には相手がいるのです！

お願い事が上手な人がいます。逆に下手な人もいます。先日、私が話をした生徒は、（彼女が）両親に何かを頼んでも断られるのに、妹の言うことは聞いてもらえる、と嘆いていました。

その話を聞き、その原因を考えてみました。

まず考えたのは**タイミング**です。頼まれる立場に立ってみると分かりますが、急いでいる時や、やるべき事がたくさんある時に依頼されたらどうでしょうか。「後にして。」と言いたくなりますよね。また、体調が悪い時も断りたくなります。相手の様子を



よく観察してタイミングを図ることは大切です。

次に考えたのは**頻度**です。次々に依頼をされたら、「いい加減にして。」と言いたくなるでしょう。適度な頻合いが大切です。

依頼をする時は当然、相手がいいます。一方的に自分の願いや気持ちを訴えても、相手から良い回答が得られるとは限りません。無理やりに依頼すると“傲慢な人”と受け取られます。相手の状況とタイミングを図りながら、依頼をするようにしてください。

祝 《第64回日本学生科学賞県審査》

知事賞 大久保さん 県議会議長賞 服部さん
県教育長賞 山川さん

日本学生科学賞県審査が行われ、中学の部トップ3を本校が独占しました。その他、県教育研究会長賞、げんでん財団科学賞、高校の部でミュージアムパーク茨城県自然博物館長賞も受賞しました。おめでとうございます。